

資料配付

官民における最新の建設技術を報告

建設技術報告会 1月18日～31日にオンデマンド配信

北陸地方における建設事業の円滑な推進を図るため、官公庁及び民間の建設会社において研究開発された新技術・新工法等の報告会を毎年開催しており、今回で27回目となります。

DX推進の一環及び新型コロナウイルス感染拡大防止を受け、昨年度に続きオンデマンド配信による開催となります。

官民で研究開発された最新の建設技術（23技術）の配信を行います。聴講にあたり、事前登録が必要となります。1月16日（月）まで事前登録が可能です。まだ空きがありますので、是非事前登録を行った上で、聴講頂きますようお願いいたします。

オンデマンド配信となりますので、ご都合に合わせてご視聴ください。受講証明書（CPD／CPDS）の有無により、視聴時の機能が異なります。詳細は、以下のとおりです。

【共通事項】

- ・土日を含む24時間いつでも、順不同で視聴が可能です。
- ・視聴時間は、23技術全て視聴で約5時間あります。
- ・報告技術で疑問点があれば、発表者へ直接メールで問合せが可能です。

【受講証明書が必要な場合】

- ・視聴中は、早送り、巻き戻しはできません。
一時停止は可能です。
- ・一度視聴した技術は、再視聴が可能です。
再視聴は、早送り、巻き戻しも可能となります。
- ・全23技術を視聴後、3つの設問に回答してください。
全て正答すると、証明書を後日メールで発行します。

【受講証明書が不要な場合】

- ・23技術全てを視聴する必要はありません。
視聴したい技術のみ視聴できます。
- ・早送り、巻き戻し、一時停止が可能です。
- ・視聴期間中、何度でも繰り返し視聴が可能です。

聴講申込はこちら🏠 <https://kensetsu-houkokukai.info>

同時発表記者クラブ

新潟県政記者クラブ
新潟県政記者クラブ（新潟）
富山県政記者クラブ
石川県政記者クラブ
各県専門紙

お問い合わせ先

北陸地方建設事業推進協議会
令和4年度「建設技術報告会」実行委員会事務局
（国土交通省 北陸地方整備局 北陸技術事務所）
副所長（機械） 元平 幸成
電話025-231-1281（代表） 内線205

令和4年度 建設分野の新技术・新工法の報告会

建設技術 報告会

開催期間

令和5年

1月18日^水～31日^火

オンデマンド配信

～建設分野に関する新技术・新工法などを発表します～



聴講者募集

新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、昨年度に引き続き、
オンデマンド配信にて実施します。

令和4年 令和5年
募集期間 12月1日～1月16日
募集定員 1,000名



(一社)全国土木施工管理技士会連合会の継続学習制度(CPDS)認定プログラム対象です。また、(一社)建設コンサルタンツ協会CPD(継続教育)は、受講証明書を発行します。【CPDS:5ユニット CPD:5単位】

主催：北陸地方建設事業推進協議会 令和4年度「建設技術報告会」実行委員会

北陸地方整備局／新潟県／富山県／石川県／新潟市
東日本高速道路(株)新潟支社／中日本高速道路(株)金沢支社
(一社)日本建設業連合会北陸支部／(一社)日本道路建設業協会北陸支部
(一社)新潟県建設業協会／(一社)富山県建設業協会／(一社)石川県建設業協会
(一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部／(一社)日本建設機械施工協会北陸支部／(一社)北陸土木コンクリート製品技術協会
(一社)プレストレスト・コンクリート建設業協会北陸支部／北陸PC防雪技術協会／(一社)新潟県融雪技術協会
(一財)新潟県建設技術センター／北陸地質調査業協会／(一社)日本埋立浚渫協会北陸支部
(一社)北陸地域づくり協会／(一社)日本橋梁建設協会北陸事務所

申込はこちら



<https://kensetsu-houkokukai.info>

問い合わせ先

北陸地方建設事業推進協議会 令和4年度「建設技術報告会」実行委員会

(国土交通省 北陸地方整備局 北陸技術事務所内)

担当：技術情報管理官(新技术)、施工調査・技術活用課 技術活用係

〒950-1101 新潟市西区山田2310番地5 TEL 025-231-8036 E-mail hokokukai-hokugi@hrr.mlit.go.jp

北陸地方建設事業推進協議会 令和4年度「建設技術報告会」 プログラム

■発表課題

技術番号	テーマ	報告技術名	発表者	所属	再生時間 (分:秒)
1	①	ダムコンクリート運搬設備(SC プレミアムベルコン)の開発	山下 哲一	清水建設株式会社	11:47
2	①	道路除雪における除雪車運行管理システムの導入について	小野寺 充	新潟市	13:48
3	①	トンネル覆工コンクリートの自動打設システムの開発	松本 修治	鹿島建設株式会社	11:19
4	①	トンネル坑内自動巡視ドローン	松岡 祐仁	株式会社フジタ	14:58
5	①	ケーソン据付時のICT施工について	東 凌	国土交通省 北陸地方整備局 敦賀港湾事務所	13:16
6	①	消波ブロックを対象としたUAV測量	西 広人	五洋建設株式会社	13:37
7	①	消波ブロックのリアルタイム据付シミュレーション	三井 順	株式会社不動テトラ	14:01
8	①	5Gを用いた遠隔操縦システムの構築	稲川 雄宣	株式会社大林組	13:00
9	②	プレキャスト床版接合技術「Head-barジョイント」	川口 哲生	大成建設株式会社	10:23
10	②	道路橋RC床版の高耐久補修工法T-Sus Layerの開発	橋本 理	大成建設株式会社	13:46
11	②	他分野で取得したデータの(利)活用による舗装修繕工事の適用検討	品田 惇貴	株式会社植木組	14:54
12	②	防水性能を有した橋面アスファルト舗装の開発	鈴木 拓人	東亜道路工業株式会社	12:13
13	②	塩分吸着型複合防水工法の開発	佐川 聡	東亜道路工業株式会社	14:12
14	③	ICT活用により作業装置を自動化した除雪トラックの試行運用について	福島 徹	国土交通省 北陸地方整備局 北陸技術事務所	11:16
15	③	積雪寒冷地の路面破損状況に着目した全天候型常温合材の開発	本間 圭一	北川ヒューテック株式会社	13:26
16	③	FFP(フル・ファンクション・パース)舗装の凍結抑制効果	藤澤 洋彦	株式会社ガイアート	13:43
17	③	放熱管方式無散水融雪設備の開発	東 知樹	株式会社グランテック	9:59
18	③	3D測量を活用した融雪配管埋設型プレキャストRC舗装版施工	坂井 祐史	株式会社興和	14:57
19	③	冬期融雪対策への通電発熱塗料を用いたシートヒーターの適用	前田 幸男	佐藤工業株式会社	12:50
20	⑤	廃プラスチック材を活用した舗装材の開発	西園 雄太	北川ヒューテック株式会社	12:50
21	⑤	作業船へのGTL燃料の導入について	田沼 遊太郎	若築建設株式会社	14:06
22	⑤	景観や環境の影響を最小限に抑えた遠隔自動浚渫技術「水底土砂ポンプ浚渫工法」	井上 真志	あおみ建設株式会社	15:00
23	⑥	車両前方画像を活用したAI による交通事故危険事象検知システム	濱島 彩織	前田建設工業株式会社	10:42

■掲載課題

技術番号	テーマ	報告技術名	発表者	所属	再生時間 (分:秒)
24	⑥	建設業の働き方改革の推進について～いしかわ週休2日工事・ICTの活用等～	濱野 仁樹	石川県	－

テーマ

- ① i-constructionによる生産性向上、インフラ分野のDX
- ② 社会資本の的確な維持管理・更新
- ③ 雪に強い地域づくり
- ④ 自然災害からの安全確保
- ⑤ 環境の保全と創造
- ⑥ その他